



## 市内流通牛肉中の動物用医薬品検査



平成24年4月及び平成25年1月に食品専門監視班が収去した、市内に流通する牛肉の筋肉9件について、動物用医薬品の合成抗菌剤28項目の検査を行いました。また、この牛肉の脂肪9件について、内寄生虫用剤3項目の検査を行いました。

その結果、表に示したように、脂肪1件からモキシデクチンが0.04ppm検出されましたが、残留基準値をこえるものではありませんでした。

表 牛肉中の動物用医薬品検査結果

項目名	件数	検出件数	検査結果	基準値	検出限界
<b>(筋肉)</b>					
<b>【合成抗菌剤】</b>					
エンロフロキサシン(シプロフロキサシンを含む)	9	0	N.D.	0.05 以下	0.005
オキシリニック酸	9	0	N.D.	0.1 以下	0.01
オフロキサシン	9	0	N.D.	含有しないこと	0.01
オルピフロキサシン	9	0	N.D.	0.02 以下	0.01
オルメトプリム	9	0	N.D.	0.02 以下	0.02
クロピドール	9	0	N.D.	0.2 以下	0.01
サラフロキサシン	9	0	N.D.	含有しないこと	0.01
ジフロキサシン	9	0	N.D.	含有しないこと	0.01
スルファキノキサリン	9	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファジアジン	9	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファジミジン	9	0	N.D.	0.10 以下	0.01
スルファジメキシシ	9	0	N.D.	0.05 以下	0.01
スルファドキシシ	9	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファピリジン	9	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファメキサゾール	9	0	N.D.	含有しないこと	0.01
スルファメキシピリダジン	9	0	N.D.	含有しないこと	0.01
スルファメラジン	9	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファモノメキシシ	9	0	N.D.	0.01 以下	0.01
ダノフロキサシン	9	0	N.D.	0.20 以下	0.01
チアンフェニコール	9	0	N.D.	0.02 以下	0.01
トリメトプリム	9	0	N.D.	0.05 以下	0.02
ナリジクス酸	9	0	N.D.	0.03 以下	0.01
ノルフロキサシン	9	0	N.D.	含有しないこと	0.01
ピリメタミン	9	0	N.D.	含有しないこと	0.02
ピロミド酸	9	0	N.D.	含有しないこと	0.01
フルメキン	9	0	N.D.	0.5 以下	0.01
フロルフエニコール	9	0	N.D.	0.2 以下	0.01
マルボフロキサシン	9	0	N.D.	0.1 以下	0.01
<b>(脂肪)</b>					
<b>【内寄生虫用剤】</b>					
イベルメクチン	9	0	N.D.	0.040 以下	0.005
エプリノメクチン	9	0	N.D.	0.25 以下	0.005
モキシデクチン	9	1	0.04	0.50 以下	0.005

単位：ppm N.D.：不検出

【 検査研究課 微量汚染物担当 】